

2020 年度／令和 2 年度 事業報告

2020 年／令和2年4月1日～2021 年／令和3年3月 31 日

2021 年度／令和3年度 事業計画

2021 年／令和3年4月1日～2022 年／令和4年3月 31 日

2021 年／令和 3 年 4 月 1 日

学校法人田名橋学園

和田幼稚園

目次 2020年度／令和2年度 和田幼稚園 事業報告

第1節 法人・幼稚園概要

第2節 幼稚園行事(事業)の概要実施報告

学事報告

研修報告

健康管理事業報告

子育て支援事業報告

第3節 学校評価

第4節 教育環境設備の充実

添付資料:保護者アンケート

認定こども園教育要領に基づいた自己評価

2020 年度／令和 2 年度 和田幼稚園 事業報告

第 1 節 法人・幼稚園概要

設置者	学校法人 田名橋学園
学校名	認定こども園 和田幼稚園
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田 910-468
法人代表者	理事長 池田 敏明
学校長氏名	園長 田名橋 真敏
役員等	理事 6 名、評議員 13 名、監事 2 名 理事会・評議員会
定員・実員学籍	定員 155 名(1 号 105 名 2 号 20 名 3 号 30 名) 実員 1 号 78 名 (うち新 2 号 39 名) 満3歳児 1 名 2 号 38 名 3 号 23 名 (うち乳児 2 名 1 歳児 9 名 2 歳児 12 名) 計 139 名
職員構成	令和 2 年度 園長 1 名、事務長 1 名、 主任保育士 1 名、主幹教諭 1 名 副主任保育士 3 名 保育教諭 7 名、保育補助 11 名、(産休 1 名) ※調理師 4 名・調理師補助 1 名、栄養士 1 名、看護師 1 名 計 31 名
建学の精神	「あかるく たくましく かんがえる人間性豊かな子どもをめざす」 子どもたちの根っこを育て、豊かな人格形成(気づき、考えて、行動する)、「生きる力」を養っていく。

第2節 幼稚園行事(事業)の概要実施報告

04/01	幼稚園保育園入園式	07/22	1学期終業式	12/25	2学期終業式
04/02	特別預かり保育(～7日)	07/27	特別預かり保育(～7/31)	01/04	特別預かり保育(～6日)
04/08	幼稚園始業式(各クラス)	08/01	誕生会	01/07	3学期始業式
04/09	コロナにより自由登園	08/04	すいか割り(各クラス)	01/10	出初式(年長)(中止)
04/18	親子遠足(中止)	08/08	個人面談	01/26	年長児園外保育(中止)
04/24	防災集会(各クラス)		(6月29日より実施)	01/28	内科検診(2回目)
05/01	こいのぼり集会(各クラス)	08/17	特別預かり保育(～28日)	02/03	節分集会(各クラス)
05/29	園外保育(年長)(中止)	08/31	2学期始業式	02/13	誕生会
06/05	4・5月誕生会	09/12	誕生会		新入園児説明会(幼稚園)
06/09	さつまいも植え	09/15	敬老会(中止)	02/18	保育参観(中止)
06/10	時の記念日集会(各クラス)	10/10	運動会	02/25	交通安全集会(年長児)
06/18	保育参観(春)	10/19	歯科検診	02/27	保育園説明会(新入所)
	保育参観(夏・秋・冬)(中止)	10/24	誕生会	03/04	年長思い出遠足
06/28	評議会・理事会	10/29	さつまいも収穫	03/06	誕生会
06/29	水遊び開始	11/07	誕生会	03/09	冬組お別れ遠足(駕与丁公園)
07/06	そうめん流し(中止)	11/14	作品展	03/13	保育園説明会
07/07	七夕集会(各クラス)	11/17	劇団さんぽ(年長児)	03/20	卒園式
07/11	誕生会	12/05	誕生会	03/23	体験入園(中止)
07/13	防犯教室(年長児)	12/12	発表会(1・2・3歳児)	03/24	3学期終業式
07/17	内科検診(1回目)	12/19	発表会(4・5歳児)	03/25	特別預かり保育(～31日)
07/18	年長児お楽しみ会	12/22	餅つき(年長児)	03/27	辞令交付・職員研修
4・5月の行事については、新型コロナウイルスの拡大防止のため中止・延期。 筆あそび(年長) 運動あそび(年中・年長) 創作ダンス(年少・年中・年長) 英語あそび(年少・年中・年長) そろばんあそび(年中・年長) (お話し会 年間2回 2月2日・3月2日)					
小学校交流会(コロナ拡大防止のため中止)					
毎月1回 園内研修(職員参加) 食育会議(学期毎)					
学校関係者評価・自己評価(職員)・保護者アンケート実施(3月)					

●学事報告

乳児2名 1歳児9名 2歳児12名 満3歳児1名

3歳児37名 4歳児39名 5歳児39名 合計139名

(うち1号認定78人 2号認定52人 3号認定23人)

篠栗町在籍 127名

粕屋町在籍 4名

久山町在籍 5名

須恵町在籍 1名

その他在籍(福津市1名、福岡市東区1名)

(通園バス利用園児17名)

2020年度					
市町村	就学小学校	人数	市町村	就学小学校	人数
篠栗町	北勢門小学校	18名	福岡市	名島小学校	1名
	勢門小学校	7名		福岡教育大学付属福岡小学校	1名
	篠栗小学校	7名	福津市	神興東小学校	1名
久山町	久原小学校	3名			
	山田小学校	1名			39名

●研修報告

開催時期	研修・事業名	研修目的	研修内容
4月3日	調理員研修①	食育会議	アレルギーマニュアル確認 食育計画
4月6日	園内研修①	保健衛生・安全対策会議	保健衛生・安全対策
4月17日	園内研修②	園の課題に応じた研修	クラス運営 親子遠足について
5月	特別支援研修	篠栗町巡回支援	
5月22日	園内研修③	園の課題に応じた研修	人権 ハラスメント
6月19日	園内研修④	園の課題に応じた研修	水遊びの際の注意事項 食育計画の見直し 特別支援計画
7月22日	園内研修⑤	園の課題に応じた研修	一学期の振り返り 運動会・作品展について
8月1日	園内研修⑥	園の課題に応じた研修	運動会・作品展について
8月3日	研修	保育補助・預かり保育研修	安全対策 働く環境 保育補助の役割について
8月29日	全体研修	園の課題に応じた研修	保育環境(外部講師) 発表会打合せ 救命救急講習
9月11日	調理員研修②	食育会議	食育計画 個別支援 アレルギー
9月12日	園内研修⑦	園の課題に応じた研修	保育実践 運動会 事故対応マニュアルについて
10月16日	園内研修⑧	園の課題に応じた研修	運動会振り返り ハラスメント 安全対策(ヒヤリハット事例)
10月30日	園長・主任会議	園長・主任会議	次年度重要事項説明書の確認、園外保育、人材育成
11月6日	園長・主任会議	園長・主任会議	安全管理 組織運営・業務内容確認 インフルエンザ対策
11月20日	園内研修⑨	園の課題に応じた研修	作品展の振り返り 発表会に向けて
12月5日	園内研修⑩	園の課題に応じた研修	研修報告 動画導入の流れ
1月16日	園内研修⑪	園の課題に応じた研修	次年度組織及び学級編成 全体的な計画
3月6日	園内研修⑫	園の課題に応じた研修	ハラスメント研修 次年度引継ぎ事項
3月15日	特別支援研修		
3月27日	全体研修	辞令交付・全体研修	保育 安全・コミュニケーション 子育ての支援 個人情報保護
3月29日～	新入職研修	新入職研修	社会人としての心得 保育について 幼児教育・保育とは
1月26日他	自己評価研修	自己評価(オンライン研修)	教育要領に基づいた自己評価
1月22日他	事故防止研修	安全対策(オンライン研修)	安全対策
2月9日他	自己評価研修	自己評価(オンライン研修)	自己評価に関する事項
2月12日他	働き方研修	働きやすい職場づくり	働きやすい職場づくり
3月22日	園見学	園見学(鹿部保育所)	
3月23日	乳児保育	乳児保育(オンライン研修)	乳児保育について

●子育て支援事業報告

① 預かり保育

17時30分まで園児を預かり異年齢児による活動を実施した。また、7月及び8月夏季長期休暇中(夏休み)に18日間、冬季長期休暇中(冬休み)に5日間、春季長期休暇中(春休み)に9日間、8時から17時30分まで預かり保育を実施した。(R1年度 203日延べ5146人一日平均25人)

通常預かり保育 令和2年4月～令和3年3月		冬季長期休暇中(冬休み)	
預かり保育日数	210日	預かり保育日数	3日
預かり保育延べ利用園児	6087人	預かり保育延べ利用園児	37人
一日平均園児数	28.9人	一日平均園児数	12.3人
夏季長期休暇中(夏休み)		春季長期休暇中(春休み)	
預かり保育日数	15日	預かり保育日数	9日
預かり保育延べ利用園児	368人	預かり保育延べ利用園児	117人
一日平均園児数	24.5人	一日平均園児数	9人

② 課外授業

課外教室を展開し「子育て支援」として位置付ける。幼稚園生活と課外教室の連携を図る。

ピアノ教室(月11名、木10名)・バレエ教室(14名)・そろばん教室(12名)・体操教室(年中24名、年長33名)を実施した。

●健康管理事業(園児・職員)

令和2年度中に下記の健康管理を実施した。

- ① 年間を通じて毎月、身長、体重の測定。
- ② 学校保健法により健康診断を実施。内科検診7月17日・1月28日、歯科検診9月7日実施。
- ③ 予防接種歴・罹患歴調査票で園児の情報を保護者と共有
- ④ 全職員健康診断を義務付け、実施している



第3節 学校評価

本年度の重点目標	●保育の質向上(教育課程の見直し、教育保育要領の理解) ●組織運営 ●教育環境整備 子どもたちが自分で考え、工夫し、学んでいく環境づくり(人的環境、保育環境)(時間、空間、人間) 「子ども主体」「子どもとともに創っていく」「保護者の子ども理解促進」
経営の重点	●組織運営の土台づくり 主任、副主任を置くことで、リーダーシップを発揮し、職員間の様々な課題に取り組んでいくことで人材育成を高める 職員が働きがいのある職場づくり(カリキュラムマネージメントによるPDCA) 保護者が子ども理解、幼稚園への理解を深めていく(HP等による情報提供、子育て支援(講演)等)
教育の重点	●保育の質の向上(指導力、子ども理解の向上、マネージメント力、リーダーシップ力) 月間指導計画、週案の作成(新幼稚園教育要領、新保育所保育指針参照) 教育要領に沿った「遊び」の時間 特別支援教育 職員間の振り返り(PDCA サイクル)

評価項目

項目	内容(取り組み)	評価	理由
1. 将来ビジョン	本園の目指す方向を確認しながら(全体的な計画を確認する)保育を進めていく。主任、副主任、各学年のリーダーを中心に、保育の質を高める。「子ども主体」「遊びを通して、環境を通して行う」 (具体的な目標や取組) ●全職員での研修を行い、園の理念、目指す子ども像の確認をする ●これからの社会で必要な育ちを確認 ●教育保育要領の理解を深めていく	B	子どもの最善の利益を考慮し、「子ども主体」の保育を創造していく。園の理念や目指す子ども像へのビジョンの共感はあるものの、それをどのように達成することができるかの具体的なイメージは職員間で様々であった。教育保育要領の理解を合言葉に、今後も少しずつビジョンを共有し、保育について学んでいく。他園の見学、研修等で様々な見方、考え方を知り、「子どもにとって」よりよい環境を創っていく。
2. 組織運営組織力の向上	園の組織運営の機能化・経営改革 (具体的な目標や取組) ●主任保育士、主幹教諭を配置し、保育の質向上を計っていく ●副主任リーダー3名を配置する ●園務分掌による仕事の効率化 ●各委員会の設置(安全管理、ハラスメント、研究会) ●キャリアアップによる人材育成の仕組み化	C	組織運営については園長、主任、副主任を中心に運営していく。主任、副主任を含むことにより、より一層多様な意見、考えから園の運営をとらえていくことができる。しかし、現実には保育の質と働き方のバランスを取りながら、保育の質を高めることができなかった。長期的視野に立ち、土台づくりと自律的な組織づくりをしていく。
	・年間指導計画の作成(「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の各領域において、「ねらいと内容」を踏まえた活動を行う) ・子どもの発達段階、子どもの理解を踏まえて、年間指導計画、カリキュラムを作成する ・子ども主体の保育「環境・遊びを通して行う」 ・10の姿を意識した指導要録 ・防災意識を高める保育 ・食育を高める		4月2日に園外講師を呼び、環境、保育について学び合う。自分で選択する、尊重する保育。環境の大切さを学んだ。(3・4・5歳児の担任のみ)4・5月のコロナ対策による自由登園時に、保育実践を全担任一人一人行う。また、保育実践を通して、保育内容や日頃の保育について話し合う機会を行う。日々の忙し

<p>3. 教育課程・指導 保育の質を上げる</p>	<p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年間指導計画の作成(主任)、月間指導計画(各学級)の作成 ●日々の週日案の充実・振り返り ●10の姿を意識した指導要録 ●食育会議を学期ごとに実施し、調理師・保育士・栄養士と連携していく ●環境を通した教育、遊びを通した教育(講師研修・園内研修) ●職務別リーダーによる保育実践(園内研修)(全担任) ●避難訓練(担当職員が計画・実施・評価・改善していく) ●体操服の注文をWEBで行う(体操服担当職員の事務軽減) ●町立幼稚園との意見交換会(2月18日実施) 	<p>C</p> <p>い中で、「新教育保育要領を学ぶ時間がない」「保育をどう変えていけばいいか」「子どもを理解するとは?」「子どもの興味・関心から始めるって?」様々な課題や問題が生じた。「学びたい」「知りたい」「成長したい」気持ちと保育者間の「つながり」を大切に、少しずつ保育の理解を深めていく。園外研修等を使い、出勤時間内で保育を学べるように支援する。副主任リーダーの育成をしていく。職場環境の風通しの良さ、人材育成のための環境づくりをしていく。</p>
<p>4. 人材育成 研修・研究</p>	<p>研修等に積極的に参加し、自己研鑽をし、保育の質を上げる 園内研修により、情報の共有、子どもの様子、環境構成を考えていく</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアアップ研修 ●副主任を中心に、保育を振り返る時間をつくる ●園内研修の充実 ●オンライン研修(自己評価等) 	<p>B</p> <p>キャリアアップ研修は、機会が少なく、限られた人材しか研修に参加できていない。副主任に新しい仕事を任せただことで、保育者・社会人としての器を広げる経験になった。園外研修を積極的に活用し、保育の質を高めていく。オンライン研修を通して、研修機会が増加した。園内研修で話し合い、子ども観、保育観を深化させていく。研修機会が増えることで、保育のイメージがしやすくなっていく。</p>
<p>5. 教育環境 整備</p>	<p>保育室の環境や園外環境を見直す</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育室の見直しを行う(1・2・3歳児棟、4・5歳児棟に) ●園庭の環境を見直し(1・2・3歳児、4・5歳児、園庭) ●園内研修の中に、職員で保育環境の見直す時間をもつ ●講師による環境についての研修を行う 	<p>B</p> <p>3歳児を1・2歳児棟に移動したことにより、2歳児から3歳児への進級へ戸惑う姿は見られなかった。4・5歳児の保育室が広がったことで、子どもたちの動線の見通しがもてるように、遊びや生活においても、静かな環境になり、子どもたちが落ち着いている。保育環境を見直し、子どもたちの興味・関心が深まるようにしていく。来年度は3歳児から4歳児で環境が変わるので、子どもたちが安心して進級できるように配慮していく。</p>
<p>6. 教育目標 学校評価</p>	<p>保護者の意見・要望の実現(3月に在園児にアンケート実施)</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2月に在園児にアンケート実施 ●学校関係者評価(2月) ●保育者の自己評価(2月) 	<p>B</p> <p>今年度は2名の先生に第三者評価を実施。保育者の自己評価、組織の在り方、様々な視点で意見交換できた。在園児にアンケート調査を行い、現在の園の保育への理解度、園の保育への評価、園への信頼度を調査。この調査から保護者が園の保育に高い関心があることが伝わる。保育者から家庭へ保育をどう見える化し、伝えていけるかが課題である。よりよい保育はしっかり伝わっていく。</p>

<p>7. 安全管理 防犯意識 を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を管理者と職員で実施 ・避難訓練について定期的に実施し、職員・園児の防災意識を高める ・危機管理マニュアルの作成し、職員と共有する <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難訓練実施計画(担当職員作成) ●防災教室(中止)・防犯教室・交通安全教室 ●安全点検(園外・園内)を実施 ●ヒヤリハット委員会の設置 ●事故報告書による分析と再発防止に向けて ●警備会社にセキュリティ委託 ALSOK 	<p>C</p> <p>今年度は1・2・3歳児、4・5歳児で各避難訓練担当を決め、実施。学校安全計画をもとに、避難訓練計画をたて実行し、避難訓練後に担当が振り返りをし、課題を抽出し、次の訓練で改善する。保育者間の連携をよりよくし、緊急時の対応の仕方を見直し、改善していく。事故が起こった場合、事故報告書を作成し、全職員で共有しているが、改善点を保育に実行できていない点が見られる。事故報告書の内容を安全管理担当が確認し、助言・アドバイスすることで、安全管理についての理解を深めていく。そのためには、安全管理について、全職員が知識と理解を深めることが大切である。</p>
<p>8. 保健管理</p>	<p>感染症については、保護者に情報展開し、疾病予防や拡大防止に努める</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●携帯アプリで、本日の感染症情報を確認できる ●感染症(手足口病、りんご病等)を出席停止から登園届に変更 ●内科検診の年2回実施(コロナ感染症により7月・11月に) ●健康集会で、手洗い・うがいについて啓発を行う(各担任が伝える) ●予防接種歴・罹患歴調査票を作成・更新している ●新型コロナ感染症対策(健康観察表、消毒、マスク等) 	<p>B</p> <p>新型コロナウイルスの感染予防とし、4月から在園児には健康観察カード、登園時の消毒、マスク着用を行ってきた。また、飛沫感染が起きやすい食事のときは、フェイスガード(衝立)を職員が考案し、園児とともに作成した。内科検診(2回)・歯科検診を実施し、園児の健康管理を保護者と園で協力しながら、行った。今年度から予防接種歴・罹患歴調査票を作成し、予防接種の勧告や情報提供を行う。</p>
<p>9. 特別支援 教育</p>	<p>特別支援教育への理解と実践</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別支援コーディネーターを指名する ●加配の先生を配置する ●特別支援経験がある職員を採用 ●園内研修により子どもの困り感、支援の仕方を職員間で共有 ●個別の指導計画を作成 	<p>B</p> <p>特別支援経験がある職員を採用することで当該職員を見本とし、支援の仕方や園児の行動の意味等の理解が深まる。加配の先生を配置することで、支援が必要な子ども園生活にスムーズに入っている。担任においても、個別の指導計画をたて、長期的に子どもの最善の利益を考慮し、子どもの育ちを見ている。具体的な支援の仕方等、施設間で共有しながら、子どもの育ちを支えていく。</p>
<p>10. 食育の 推進</p>	<p>食育の推進を通して、自然や命に目を向け、生きる力につなげていく</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年間の食育計画を各クラス作成 ●栄養士・調理師、保育者による研修を学期ごとに実施 ●HPに給食のしおりを作成し、保護者への情報展開 ●給食の掲示を行い、保護者とともに食への意識を共有する 	<p>B</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、園児が参加する食育の活動はあまり実施できていない。栄養士・調理師により、季節の旬の食材を使用したり、各国の料理を給食に取り入れることで、園児の食への関心を高めることにつながっている。さつまいもやプランターで春・夏・冬野菜を育てることで、命の大切さや食への関心につなげている。</p>

11. 情報提供	<p>情報発信(バスキャッチにより、欠席出席連絡等で、保護者からの連絡を一斉管理) ホームページ、連絡メールにて情報発信を行う</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●携帯アプリでの保護者への連絡(行事、緊急) ●クラスだよりを月の子どもの様子・育ちのドキュメンテーションに ●ホームページでの行事での子どもたちの姿を発信 ●動画配信(園チャンネル)(子どもたちの様子を保護者の方に) 	A	<p>今年度12月より園チャンネルより動画を配信。(保育の見える化)保護者に保育を伝える、育ちを伝える。ホームページでは新入園児、新規入職者、地域の方、対象で子どもたちの姿を伝える。携帯アプリをより利用しながら、「子どもたちにとってよりよい環境をつくっていく。」</p>
12. 保護者・地域との連携	<p>園の行事等へ多くの保護者の皆様の参画を計画。保護者、保育者が共に協力し合って園児の健やかな成長を保障する</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の方をボランティアで活用する(預り保育など) ●園の行事等への保護者参加 ●クラス役員を学校関係者評価に加える 	C	<p>保護者がコロナウィルスの影響によりなかなか園の行事に参加できなかった。動画配信やクラスだより等で園の保育に興味をもってもらった。地域との連携は子育て支援センターの子ども園として子育ての重要な基点として今後重要になる。シルバー人材派遣により地域とのつながりをもつ等、様々な取組みに挑戦しつつ、地域・保護者との連携を広げていく。</p>
13. 子育て支援	<p>子育てについての講話を計画(コロナで中止)主任による子育て支援開設(コロナで中止)</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育てについての講話を計画 ●未満児の子どもたちを年間2回参加してもらい子育てや交流の場にする 	C	<p>保育者の子育て支援、幼稚園の子育て支援。コロナ禍の中、なかなか保護者とコミュニケーションをとり、子どもの育ちを共有することができにくかった。保育の重要性、子育ての支援や楽しさを伝えていきながら、共に子どもの育ちを支えていける環境を共有していく。</p>
14. 人権教育	<p>ハラスメントについて、全職員で研修を設け、ハラスメント、児童虐待についての理解を深める</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハラスメント委員会を立ち上げる ●ハラスメント研修(9月・3月) ●児童虐待マニュアルの確認、児童虐待の理解 	B	<p>社会的にも児童虐待の件数、児童相談の件数が増加傾向にある。「しつけとって、虐待をする」知ること(子どものこと、虐待のこと)からまずははじめていく。保育者においても意識しないと子どもの心にダメージを与えることがある。知る、やめる、やめさせることを大切にしていく。定期的な研修は今後も継続して行う。</p>
15. 預かり保育	<p>保育園児・幼稚園児の人数の増加に伴う預り保育環境の見直し</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育室の見直しを行う(1・2・3歳児棟、4・5歳児棟に) ●預かり保育時間のワンデープログラムの見直し ●18時～18時30分 延長保育 	B	<p>預かり保育中のDVD鑑賞をやめ、遊びの時間を増やす。4・5歳児については、子どもの家庭での様子を保護者が確認し、昼寝の有無を園に連絡することにする。</p>
16. 小学校との連携	<p>小学校との円滑な接続できるように、小学校と連携していく</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校との交流(1月・2月) ●指導要録の共有 	C	<p>コロナウィルス感染予防のため、小学校交流会や小学校の学習を見る機会はなかった。保幼小連絡会で、園の保育、子ども一人一人について伝えていく。21年度は公開保育等、保</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の学習参観に参加 ●アプローチカリキュラム作成 		育を小学校の先生に伝えていく。対話する機会をより増やしていく。
17. 職員のメンタルケア	<p>職員のメンタルの状況を常に観察し、全職員で支えていく</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主任、副主任を配置し、同僚で相談できる関係をつくる ●長時間勤務者には休憩時間を確保し、リフレッシュ時間を設ける ●休憩時間(遅出)をつくる 	B	休憩時間を確保し、ノンCONTACT導入により、リフレッシュする時間を確保することができた。あとは、日々の業務量の見直しを21年度行い、明日の保育に向けて進んでいく。業務過多により、心の余裕が持てず、職員間の関係性を構築するまでには至らなかった。一人一人のメンタルの部分把握しながら、相談しやすい雰囲気づくりに努めていく。
18. 働き方改革	<p>ワークライフバランスを整え、メンタルケアを行い、やりがいと働きがいをもつ</p> <p>(具体的な目標や取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有給休暇取得率を上げる(全職員最低5日) ●勤務時間が超過している職員には声をかける ●仕事の仕方等困っている職員には主任や副主任が相談役となる ●職場環境の雰囲気がよくなるように、園内研修や話し合いの場をつくる ●アンケート等で職員が困っている事項について状況を把握し、支援が必要な事項を把握する ●働きやすい職場づくりのアンケート実施(7月) 	C	今年度は退職者が5人で、離職率が14.7%(34名中)であった。去年と比較して仕事量が増加したことがあげられる。保育の変革期で学ぶことが多く、仕事量が増加しワークライフバランスが崩れたのではないかと思う。組織風土においても、各職員が心理的安全性をもち、積極的に挑戦していける環境づくりを今後整えていき、主体的で対話的で深い学び、同僚と協働できる環境を職員と創造していく

総合評価	理由・課題
C	<p>20年度を振り返ると、コロナウィルスの影響で「子どもたちの安全と保育」について考えさせられた一年であった。予測できない、複雑な、多様な社会の中で、子どもたちに必要な資質・能力はどんなものだろうか。感染予防をしながら、子どもたちの学びは継続していく。保育者や子どもたちも不安や戸惑いを感じながらも、園生活で友だちと保育者と関わり、その関わりが子どもたち自身の心を支えていた。また、自分を信じて最後までやり抜く、自分で気づき考えて行動することを大切にしてきた。園の生活においては、一人一人の人権を大切にす、一人一人の表現を大切にす等より子どもが主体となれる環境づくりに取り組んでいく。園内研修やオンライン研修で各々の学びを少しずつ少しずつ進めていく。21年度も20年度同様保育について考え、語りあっていく組織づくりをしていく。</p> <p>課題は、保育の質(=保育実践の質=保育教諭の質)、人材育成(副主任の育成「計画力」「判断力」「リーダーシップ」「主体性」)、同僚性(園内研修の充実=「計画的」「年間研修計画の内容」「必要な知識とスキル」)の3つである。保育の質を高めていくことは、組織の力を高めていくことにつながり、そして、その中で関わる人たちの力を高めていくことにつながる。</p>

第4節 教育環境の充実

2020年度/令和2年度

① 環境を通して行う保育のために



② 園庭の環境を見直し



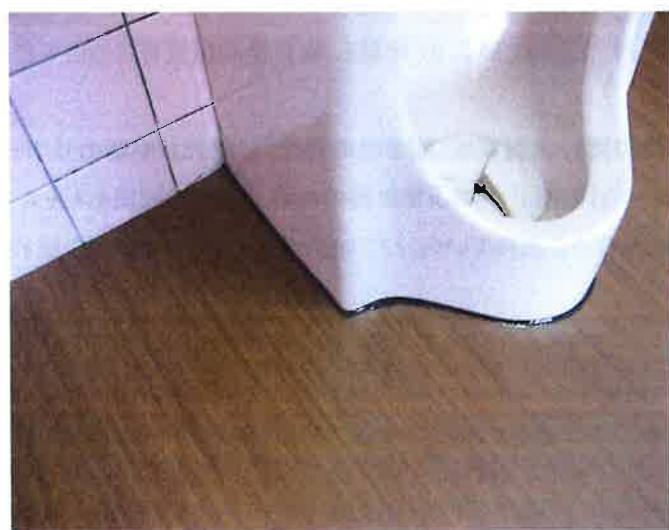
③ 園庭の環境を見直し



④ 園庭の環境を見直し(人工芝)



⑤ 遊戯室の腐食部を改修



⑥ LED に変える



⑦献立(各玄関に設置)



⑧幼稚園用車購入



⑨セアカゴケグモの点検



⑩警備会社にセキュリティ委託 ALSOK



⑪園バスの購入



⑫格子取り付け



目次 2021年度／令和3年度 和田幼稚園 事業計画

第1節 法人・幼稚園概要

第2節 2021年度／令和3年度 幼稚園運営指針

第3節 組織運営体制

第4節 全体的な計画

第5節 幼稚園行事(事業)の実施計画

研修計画

健康管理事業計画

子育て支援事業計画

保育環境整備事業

第6節 沿革

第1節 法人・幼稚園概要

設置者	学校法人 田名橋学園
学校名	認定こども園 和田幼稚園
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字和田 910-468
法人代表者	理事長 池田 敏明
学校長氏名	園長 田名橋 真敏
役員等	理事 6名、評議員 13名、監事 2名 理事会・評議員会
定員・実員学籍	定員 155名(1号 105名 2号 20名 3号 30名) 新入園児 3歳児 25名 4歳児 6名 5歳児 2名 1号 80名 2号 39名 3号 17名 計 136名(2021/4/30現在)
職員構成	<p>2021年度／令和3年度</p> <p>園長 1名、事務長 1名、副園長兼主任保育士 1名、主幹教諭 1名</p> <p>5歳児(41名) 保育教諭 2名、副担任 1名</p> <p>4歳児(41名) 保育教諭 2名 (4・5歳児保育補助 2名)</p> <p>3歳児(38名) 保育教諭 2名、副担任 1名、保育補助 1名</p> <p>2歳児(19名) 保育教諭 2名、保育補助 2名</p> <p>1歳児(6名) 保育教諭 1名、保育補助 1名</p> <p>保育補助 7名、調理 5名(産休 1名含む)、栄養士 1名</p> <p style="text-align: right;">計 34名</p>
建学の精神	<p>「あかるく たくましく かんがえる人間性豊かな子どもをめざす」</p> <p>子どもたちの根っこ(心)と体を育て、豊かな心をもち人との関わりを大切にする子、自分を信じ最後までやり遂げる子、気づき考え行動できる子を目標に、「生きる力」「生き抜く力」を養っていく。</p>

第2節 2021年度／令和3年度 幼稚園運営指針

① 和田幼稚園経営の基盤

和田幼稚園(以下「本園」という。)は、教育基本法(平成18年法律第120号)、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号)及び子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)その他の関係法令を遵守して運営する。

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律及び子ども・子育て支援法の規定に従い、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を教育・保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

○幼稚園教育の基本

- (1)本園は、安心・安定した情緒と落ち着いた環境の中で、自ら学ぼうとする意欲を育て、健やかで豊かな心と体が育つよう教育・保育を行うものとする。(幼児期にふさわしい生活の展開:安定した情緒の下で自己発揮できる)
- (2)本園は、幼児の自発的な活動としての遊びが心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として総合的に達成されるものとする。(遊びを通しての総合的な指導)
- (3)本園は、教育・保育に関する専門性を有する職員が、家庭との密接な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育を一体的に行うものとする。(一人一人の特性に応じた:個々の課題を見つけ、関わり方も変える)

② 田名橋学園の運営方針

(1) 安全・安定・安心な園づくり

子ども達が楽しく安心して園の生活ができるように子どもたちの情緒の安定を図り、日常の安全管理や避難訓練など防犯体制の充実を図り、安全で安心な園づくりを推進する。

(2) 人格形成の基礎づくり

挨拶や礼儀作法など基本的な生活習慣が身につくように援助し、自発的、主体的に行動できるように助長する(人格形成の基礎づくり)を推進する。

(3) 幼児教育の更なる充実(豊かな環境の中で、多様な経験をし、成長を促す)

遊びや活動、生活の中で、人・もの・コトに子どもたちが自ら関わり、その中で発見したり、気付いたり、工夫したり思考錯誤し、友だちと協力したりしながら、子どもたちの園生活が充実していくように関わっていく。

③ 教育理念「あかるく たくましく かんがえる創造性豊かな子を」

教育方針「あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな人格形成の基盤を養うことを主な方針とする」

- あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな子を目標とし、一人一人の関わりを大切にする
- 自然を営む環境の中で、多様な経験をし、成長、発達を促す
- 規則正しい生活習慣を身につけ自発的に行動できるように助長する

④和田幼稚園が目標とする子ども像

- 人との関わりを大切にする子(社会性の芽)
- 自分を信じ、最後までやり抜く子(自信の芽)
- 気付き、考えて、表現する子(主体性の芽)
- 自ら課題を見つけ、探求する子(探求の芽)
- 自然に関わり、命を大切にする子(命の芽)

第3節 組織運営体制

2021年度においても、「園務分掌」に基づき、業務を分掌し、合理的で機能的な幼稚園運営を図る。

① 組織運営・職員の働き方

- ・職場づくり
 - ・園のルールづくり(「あかるく、たくましく、かながえる」主体的な職員を目標に)
 - ・人事評価基準を設ける(別紙参照)
 - ・月一回の健康チェック、ストレスチェック(Geppo)(セルフコントロール)
 - ・委員会の設置(専門リーダーと副主任との連携)
- (安全管理、ハラスメント、特別支援、防災、食物アレルギー、保健衛生)



② 保育の質の向上

- ・園外研修・オンライン研修の活用
- ・子ども園・保育施設見学
- ・篠栗町の幼稚園・保育園との連携(公開保育、保育者間の交流会)
- ・週日案の見直しⅡ(計画⇒実践⇒評価⇒振り返り)
- ・こども理解の促進と要領の理解、日々の保育の振り返りを職員間で行う
- ・園内研修・園外研修の充実(ミドルリーダーの活躍に期待)
- ・保育実践を認めていく(“保育ワクワク賞“保育実践(クラスだより活用)発表)

③ 保護者支援・子育て支援

- ・個人面談の実施(年2回)
- ・保育の見える化(動画配信)
- ・クラス便りの充実(子どもの様子や育ちを保護者にドキュメンテーションしていく)各クラスの様子がより保護者の方に伝わるようにする(保育者が保育子どもの姿、子どもの育ちを説明していく)



園チャンネルへようこそ

園から通知された認証キーを入力してください

認証する



入園式R3

21年度幼稚園

検索

TEL: 090-1104-3221 FAX: 090-1104-3222
E-MAIL: info@yuan.or.jp

第4節 全体的な計画

幼稚園型認定こども園和田幼稚園

2021年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

教育・保育方針	<p>「あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな人格形成の基盤を養うことを主な方針とする」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あかるく、たくましく、かんがえる創造性豊かな子を目標とし、一人一人の関わりを大切にする ○自然を営む環境の中で、多様な経験をし、成長、発達を促す ○規則正しい生活習慣を身につけ自発的に行動できるように助長する 	
教育・保育目標	<p>子どもたちの根っこ(豊かな感性や健康な身体)を育て、「生きる力」「生き抜く力」を養う。</p> <p>人との関わりを大切にする子(社会性・人間力を育てる)(心の芽の育成)</p> <p>自分を信じ、最後までやり抜く子(自信を育てる)(自信の芽の育成)</p> <p>気付き考え表現する子(主体性・自主性を育てる)(学びの芽の育成)</p> <p>自ら課題を見つけ、探求する子(探求の芽)</p> <p>自ら自然に関わり、命を大切にする子(命の芽)</p>	
目標とする保育者	<p>～子どもたちの心に沁みわたる保育を目指して～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者・地域社会から信頼される元気で明朗な先生(オープンマインド) ○子どもの目線に立ち、子どもの心に目を向ける子どもから信頼される先生 ○幼児理解を深め専門職としての力量と責任を持ち、常に学ぶ姿勢を忘れない先生 ○保育者間で協同し合い子どもたちの成長を見つめる先生(同僚性)(チームワーク) ○保育に対しての熱意をもち、自分で考えて、行動する先生(主体性・自律性) ○社会人として、責任と自覚をもつ先生 	
<p>●1号認定:基本保育時間→9:00～14:30 *預かり保育 7:30～8:30 14:30～17:30</p> <p>●2・3号認定:基本保育時間→7:00(8:30)～18:00(16:30)</p>		
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ●入園式 ●誕生会 ●健康診断 ●歯科検診 ●水あそび ●防犯教室 ●運動会 ●さつまいもほり ●生活発表会 ●餅つき ●個人面談 ●交通安全教室 ●思い出遠足 ●卒園式 	
教育・保育要領上の教育及び保育の基本及び目標	保育5領域との整合性	地域の実態に対応した保育事業と行事への参加(社会貢献)
<p>教育・保育の基本については要領の4つの事項を重視する。目標は生活・遊び・環境を通して、生きる力を育成するように認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努める。</p>	<p>教育・保育要領の第2章のねらい及び内容並びに配慮事項を鑑み、各領域が示す目的に沿って教育及び保育がなされるようにする。その際総則を前提とした配慮を行う。</p>	<p>消防出初式・敬老会等の地域の行事に参加する。地域の人に昔遊びを教えていただいたり、地域の人に関わりながら、子どもや保護者と地域をつないでいく</p>
家庭との連携	小学校への接続・連携(年長児)	自己評価・第三者評価
<p>園児の生活全体を豊かにするために家庭との連携を密に図る。園児の記録等による状況把握、入園のしおり・HP等による園の情報提供にて情報を共有する。また、教育及び保育の全体計画やおたより、保育ドキュメンテーションによる保育の説明を丁寧に行う。</p>	<p>アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの推進を図る。また、小学校教育への円滑な接続に向けて園児と児童の交流、職員と教師の意見交換や合同研究の機会を図る。</p>	<p>開かれた教育課程・開かれた幼稚園を目指すべく、子ども理解に基づく評価を通して、保育の質の向上を高めていく。</p>

特に配慮すべき事項

特に配慮すべき事項	
健康支援	環境、衛生・安全管理
<ul style="list-style-type: none"> ●健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ●年2回の嘱託医による健康診断(内科) ●年1回の嘱託医による歯科検診 ●登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●年間保健指導計画 ●月一回園便りにて保健衛生について保護者に配布 ●年1回職員健康診断及び毎月の検便(保育教諭・栄養士・調理員) 	<ul style="list-style-type: none"> ●危機管理マニュアルの整備 ●園内研修による危機管理マニュアルの啓発 ●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒 ●施設内外の設備、用具等の安全管理及び自主点検 ●子ども及び職員の清潔保持 ●感染予防マニュアルの作成と実施及び保護者との情報共有(連絡アプリにて感染症の状況を保護者が確認できる) ●インフルエンザ・新型コロナウイルスへの対応 ●定期的に避難訓練を実施(火災、地震、不審者対応)の実施 ●消火訓練の実施 ●学校安全年間計画 ●警察署の指導による安全教室の実施 *年1回外部業者による消防設備点検 ●AED研修、エピペン研修実施
食育の推進	子育ての支援
<ul style="list-style-type: none"> ●食育計画の作成(栄養士、調理師、保育教諭) ●栄養バランスを考えた自園給食の提供 ●全園児へ炊きたて米飯の提供(玄米提供) ●行事食の提供 ●菜園づくりの実施 ●クッキングの実施 ●弁当の日(保育園児) ●保護者との連携・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●入園のしおり・パンフレットの配布 ●実習生及び中学生保育体験の受入れ ●危機管理体制の掲示 ●その他緊急を要する情報の通知 ●保護者との連携協力 ●子育て支援研修・ワークショップ ●地域子育て支援的活動(育児相談等)

本年度の重点目標	<p>「あかるく たくましく かんがえる」</p> <p>豊かな環境の中で一人一人の幼児を大切にしたい質の高い教育、保護者とともに子どもたちの成長を分かち合える開かれた幼稚園を目指す</p> <p>●保育の質向上(教育・保育の基本の理解) ●組織運営 ●人材育成</p>	
経営の重点	<p>●組織運営の土台づくり「あかるい(元気、前向き、豊かな、生き生きとした、澄みきった、誠実さ)環境」</p> <p>主任、副主任を置き、リーダーシップを発揮し、職員間の様々な課題に取り組んでいくことで人材育成していく</p> <p>職員が働きがいのある職場づくり(保育者同士のつながり・保育者と保護者のつながり)</p> <p>保護者が子ども理解、幼稚園への理解を深めていく(HP等による情報提供、子育て支援(講演)等)</p>	
教育の重点	<p>●保育の質の向上(指導力、子ども理解の向上、マネジメント力、リーダーシップ力)</p> <p>新幼稚園教育要領、新保育所保育の理解と実践への浸透</p> <p>子ども理解を深める 環境構成の理解 援助の理解 職員間の振り返り(自己評価)(PDCA サイクル)</p> <p>●人権を大切にする ●共に育つ(地域との関わり、保護者と育つ) ●自然と関わる(自然を感じる)</p>	
教育及び保育目標	1歳児	安心できる保育者との関係の下で、行動範囲が広がり探索活動が盛んになる
	2歳児	受容的・応答的な環境の中で、自分でしようとする気持ちが芽生える
	3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲をもって活動する

(学年の重点事項)	4歳児	信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする		
	5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる		
養護 (保育教諭が行う事項)	年齢	3歳児	4歳児	5歳児
	生命の保持	●健康的な生活習慣の形成	●運動と休息のバランスと調和を図る	●健康・安全への意識の向上
	情緒の安定	●主体性の育成 ●自立心の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定により自信を持つ
ねらい及び内容	領域	教育及び保育(教育課程に係る教育時間含む)		
	健康	●意欲的な活動 ●基本的な生活習慣の確立	●健康への関心 ●体全体の協応運動	●健康増進とさらなる挑戦への意欲
	人間関係	●自立心の育成と平行遊びの充実	●仲間との深いつながり	●社会性の確立と道徳性の芽生え
	環境	●身近な環境への積極的な関わり	●社会事象への関心の高まり	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ
	言葉	●言葉の美しさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用	●伝える力・聞く力の獲得	●文字や数字の獲得による遊びの発展
	表現	●自由な表現と豊かな感性の育ち	●豊かな感性による表現	●ダイナミックな表現 ●感動の共有
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(①心情②意欲③態度を意味する)	健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。		
	人間関係	園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。		
	環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。		
	言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。		
	表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。		
教育及び保育の基本と目標	基本(1)活動体験を十分に積み重ねる (2)養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開 (3)遊びを通した指導を中心として5領域のねらいを達成 (4)園児一人一人の発達課題に即した指導→保育教諭の計画的な環境構成 目標:認定こども園法第9条の目標達成に努める			
特色ある教育と保育	●園児一人一人の関わりを大切に、生活力と自信と生き抜く力を育む ●多様な体験を育む補保育(筆遊び・運動遊び・英語遊び・茶道・算盤・表現ダンス)			
食育計画	●生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみ合う ●各クラスが年間食育計画を立て栄養士、調理の先生と相談しながら食育を進める			

学校安全 計画	「生きる力」を育む安全教育 ●学校安全計画をもとに、防災委員会が中心になり、各担任が年間の避難訓練計画を立てる
保健衛生計画	●保健衛生計画をもとに、保健衛生委員会が中心となり、各担任が年間の保育計画に入れていく
研修 計画	語り合う園内研修 子ども主体へ向けた研修 ●教育・保育要領対応の園外・園内研修(キャリアアップ研修を含む) ●外部講師による園内研修 ●園外研修への計画的な参加(県外研修、乳児保育研修、地域子育て支援研修等含む)
自己 評価	●(全体の反省による計画・教育課程への反映) ●保育教諭等の評価(自己評価) 自己チェックリストの実施 ●アンケート調査(保護者) ●認定こども園教育保育要領に基づく自己評価
第三者評価	●学校関係者評価(学校関係者、保護者) ●専門知識をもった関係者の評価

第5節 幼稚園行事(事業)の主要実施計画

04/01	幼稚園保育園入園式	06/29	防災教室	12/27	特別預かり保育(~28日)
04/02	特別預かり保育(~7日)	07/21	防犯教室	01/04	特別預かり保育(~5日)
04/08	幼稚園始業式	07/31	誕生会(7・8月)・終業式	01/06	3学期始業式
04/09	年少午前保育(~16日)	08/02	特別預かり保育(~8/27)	01/22	誕生会(1月)
04/24	誕生会(4月)	08/30	2学期開始	02/01	クラス見学(夏1)
05/14	内科検診	09/11	誕生会(9月)	02/02	クラス見学(夏2)
05/17	個人面談(蓄・春開始)	09/17	地域交流会(年長)	02/05	誕生会(2月)
05/19	クラス見学(夏1)	10/09	ミニ運動会		新入園児説明会(1号)
05/20	クラス見学(夏2)	10/14	ミニ運動会予備日	02/08	クラス見学(秋1)
05/22	誕生会(5月)	10/16	ミニ運動会予備日	02/09	クラス見学(秋2)
05/26	クラス見学(秋1)	10/23	誕生会(10月)	02/10	クラス見学(蓄・春)
05/27	園外保育(年長)	10/29	園外保育(年長)	02/14	個人面談開始
05/28	クラス見学(秋2)	11/06	誕生会(11月)	02/24	クラス見学(冬)お別れ会
05/30	評議会・理事会		新入園児面接	02/25	交通安全教室
06/02	クラス見学(冬1)	11/12	内科検診	02/26	保育園説明会(新)
06/03	クラス見学(冬2)	11/16	劇あそび	03/05	誕生会(3月)
06/04	歯科検診	12/04	誕生会(12月)		在園児説明会
06/05	防災訓練(引渡し訓練)	12/11	発表会(1・2・3歳)	03/08	思い出遠足(年長)
06/21	個人面談開始(夏・秋・冬)	12/18	発表会(4・5歳)	03/12	保育園説明会
06/26	誕生会(6月)	12/21	餅つき(年長)	03/19	卒園式
06/28	水遊び開始	12/24	2学期終業式	03/26	辞令交付・職員研修
新型コロナ感染予防をし、行事等を実施。筆あそび(年長) 運動あそび(年長) 創作ダンス(年少・年中・年長) 英語あそび(年少・年中・年長) そろばんあそび(年長) (お話会 年間3回)					
毎月1回 園内研修(職員参加) 食育会議(学期毎)					
学校関係者評価・自己評価(職員)・保護者アンケート実施(2月)					

●学事予定

1号 81名

2号 39名

3号 17名 計 137名 (2021/5/1 現在)

篠栗町在籍 128名

粕屋町在籍 5名

久山町在籍 3名

須恵町在籍 1名

通園バス利用園児 26名(往きのみ 4名)

2021年度 就学予定		
市町村	就学小学校	人数
篠栗町	北勢門小学校	21名
	勢門小学校	14名
	篠栗小学校	4名
久山町	久原小学校	1名
粕屋町	大川小学校	1名
		41名

●研修計画

2021年度 園内研修・園外研修計画

研修・事業名	研修目的	研修内容	実施主体	開催時期	研修計画・内容の見直し
全体研修		経営要綱・全体的な計画		3月27日	
学校関係者 評価	第三者評価	学校経営、人材育成、 学校評価		年間	
職員アンケート ヒアリング	自己点検・自己評価	自己点検・自己評価		学期毎	
主任・副主任会議	園の課題に応じた研修		主任・副主任		学期毎
園内研修①	安全対策会議	ヒヤリハット事例等	防災委員会等	4月2日	
園内研修②	保健衛生・安全対策会議	個別支援 アレルギー等	保健衛生委員会等	4月5日	
園内研修③	園の課題に応じた研修	保育環境について	外部講師	4月6日	
園内研修④	園の課題に応じた研修	ハラスメント等	ハラスメント委員会	4月24日	
園内研修⑤	園の課題に応じた研修	特別支援 食育計画 等	特別支援等	5月22日	
園内研修⑥	園の課題に応じた研修	安全管理(30分)等	安全管理委員会 各担任	6月26日	
園内研修⑦	職員間、保護者との コミュニケーションの活性化	1学期の課題や改善点等	専門リーダー 各担任	7月31日	
園内研修⑧		運動会に向けて(30分) 2学期の遊びの計画	副主任 各担任	9月11日	
園内研修⑨		運動会振り返り 9月10月クラスだより振り返り	副主任 各担任	10月23日	
園内研修⑩		発表会に向けて(30分) 11月クラスだより振り返り	副主任	12月4日	

園内研修⑪	職員間、保護者との コミュニケーションの活性化	クラス発表 園の課題共有(学校評価)	園長	1月22日	
園内研修⑫		全体的な計画 自己評価(教育保育要領に基づいた評価)	園長	2月5日	
園内研修⑬		クラス編成(保育園・幼稚園)引継ぎ 次年度の変更点(園長・主任・事務) 卒園式について(年長担任)	園長 主任	3月5日	
調理員研修①	食育会議	個別支援 アレルギー等		4月3日	
調理員研修②	食育会議	食育計画(後期)等		9月14日	
調理員研修③	食育会議	一年間の振り返り 課題・改善点 等		1月27日	
特別支援研修	篠栗町巡回支援 療育機関との連携	校内委員会(特別支援)		5月・2月	篠栗町巡回支援
全体研修		経営方針・園務分掌 全体的な計画	全職員	3月26日	
外部研修	基礎ステージ② 中堅ステージ② 主任ステージ②	(指導力向上、危機管理、 子ども理解、保護者支援)	認定子ども園 幼稚園振興協会		幼稚園振興協会研修 (基礎①・中堅①・主任①)
オンライン研修	ステージに応じた研修				
キャリアアップ研修				前期①後期①	

●研修計画(新入職)

2021年度 園内研修・園外研修計画(新入職)

研修・事業名	研修目的	研修内容	実施主体	開催時期	研修計画・内容の見直し
新人研修(新卒)				3月18日	年長児の活動
新人研修(新卒)				3月19日	1歳児の活動
新人研修(新卒)				3月22日	園バス・保護者対応等
新人研修(新卒)				3月24日	園バス・保護者対応等
全体研修		経営方針・園務分掌 ●人権研修 ●AED研修	全職員	3月27日	
新人研修(新規)		保育施設における社会人としての心得(4講座)		3月29日	午後保育実践
新人研修(新規)		①子どもたちの未来を育む「幼児教育・保育」とは		3月30日	午後保育実践
新人研修(新規)		安全対策 保健衛生		3月31日	
新人研修(新規)		社会人の自覚 人権教育	福岡県幼稚園新規採用教員研修	4月2日	

新人研修(新規)		特別支援 幼児理解について 信頼される保育者となるために		6月23日	
新人研修(新規)		安全管理 健康 専門性 保育実践		7月20日	
新人研修(新規)		安全管理 健康 専門性 保育実践		7月21日	
新人研修(新規)		教育課程研究協議会		8月5日	
新人研修(新規)		公開保育		10月19日	
新人研修(新規)		1年間の振り返り		1月19日	
職員アンケート ヒアリング	自己点検・自 己評価	自己点検・自己評価		学期毎	



●健康管理事業(園児・職員)

2021年度中に下記の健康管理事業を実施予定。

- ①年間を通じて定期的に身長、体重の測定。
- ②学校保健法により健康診断を実施。内科検診(年間2回)、歯科検診(年間1回)実施予定。
- ③予防接種歴・罹患歴調査票で園児の情報を保護者と共有
- ④年1回職員健康診断及び毎月の検便(保育教諭・栄養士・調理員・養護)

●子育て支援事業

① 預かり保育(1号)

17時30分まで園児を預り異年齢児による活動を実施する。また、4月1日～7日の春季長期休暇中の特別預かり保育を実施。8月夏季長期休暇中(夏休み)に15日、冬季長期休暇中(冬休み)に4日間、春季長期休暇中(春休み)に4日間、8時から17時30分まで預かり保育を実施する。(金額1500円/日から1000円/日に変更)(※7時30分から8時まで100円) 預かり保育(2・3号) 18時から18時30分(延長保育)(30分で500円)

②課外授業

課外教室を展開し「子育て支援」として位置付ける。幼稚園生活と課外教室の連携を図る。
ピアノ教室(月、木)・ダンス教室(火)(予定)・そろばん教室(水)・体操教室(金)を実施する。

③子育て支援(年間2回)(コロナ禍のため、延期中)

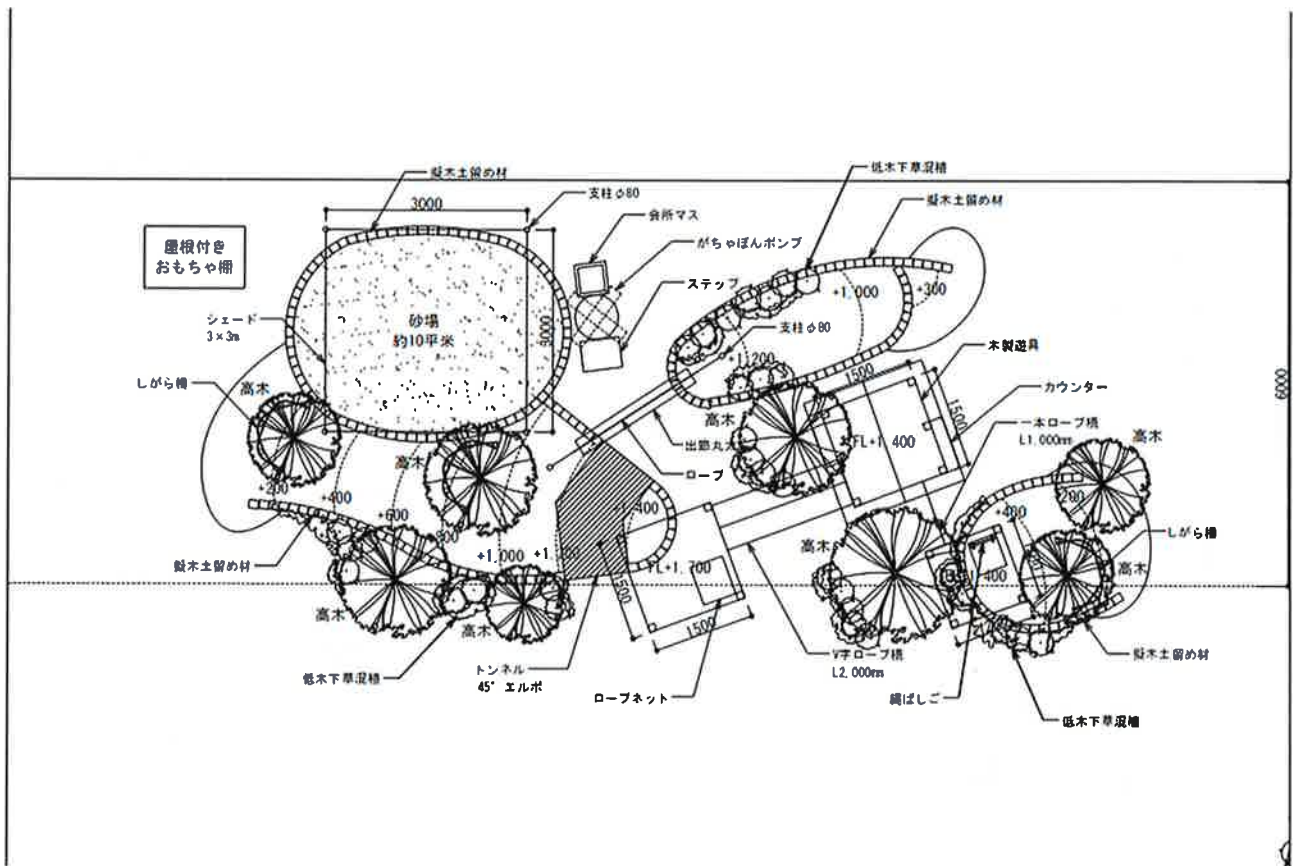
●保育環境整備事業

①乳児1歳児の手洗い場設置



② 保育室環境見直し

③ 園庭の環境見直し



第6節 和田幼稚園の沿革

1984年度 昭和 59 年	和田幼児園開設 園長田名橋勝創設
2006年度 平成 17 年	学校法人田名橋学園和田幼稚園開園 園長 池田寿美子 就任
2014年度 平成 25 年	長期休暇中特別預かり保育開始
2013年度 平成 26 年	ホームページ開設 和田幼稚園園舎を新築
2015年度 平成 27 年	認定こども園和田幼稚園開園 和田幼稚園 10 周年記念式典 和田幼児園 30 周年記念式典 預かり保育時間の変更(7 時 30 分-18 時→7 時 30 分-17 時 30 分)
2016年度 平成 28 年	
2017年度 平成 29 年	園長 田名橋真敏 就任 保育園棟を改修 学籍園児数 146 名
2018年度 平成 30 年度	新教育要領・保育要領に伴う、和田幼稚園の運営規定一部変更 預り保育環境の見直し(保育園・幼稚園を分ける) ICT化による業務効率化(バスキャッチ導入) 職員の勤務時間の見える化(シフト表作成) 通園バス(園児 39 名乗車)を購入 登園・降園時間の変更(9 時 10 分→9 時、15 時 30 分→15 時 20 分) 新入園児の入園検定料(1000 円)廃止 保護者会費を校納金に変更
2019年度 令和元年度	幼稚園の働き方改革 就業規則の見直し(職員の就業時間実績確認、有給休暇消化率確認) 人材育成制度構築(評価制度) 食育事業の推進(栄養士による食育体験) 保育環境見直し(幼稚園ホールを保育室に改修)4・5 歳児/1・2・3 歳児で園舎を分ける
2020年度 令和 2 年度	預かり保育事業 18 時～18 時 30 分 保育園児(1 歳 3 ヶ月(2019 年度)から 1 歳(2020 年度))受け入れの年齢変更 子育て支援(年間 2 回)(7 月 18 日・9 月 26 日(実施予定))(コロナのため中止) 主任・副主任等キャリアパスの構築 長期特別預かり保育料一日 1500 円→1000 円に変更 警備を強化(ALSOK)
2021年度 令和 3 年度	保育の見直し、保育環境の見直し 1 歳児手洗い場設置(5 月初着工) 園庭の環境見直し(現在計画中)(長期期間中に着工予定ゾーン①) 長期特別預かり保育時間 8 時から 7 時 30 分(別途料金 100 円)に変更 月一回の健康チェック、ストレスチェック(Geppo)

